

平成25年度 第41回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会
(兼 第44回 全国高等学校選抜優勝大会県予選会)

大会展望

☆男子展望

今大会は、県総体において優勝した美濃加茂が優勝候補の筆頭である。全国高校総体では惜しくも1回戦で涙をのんだが、実績・経験とも申し分がない。主将の木村、フォワードの坂之下、センターの海津・武藤を軸にスピーディーで、破壊力のあるバスケットを展開する。

対抗には、県総体2位の岐阜農林があげられる。県総体では惜しくも美濃加茂に敗れたが、3年生の吉田、田中を中心に伝統である粘り強いディフェンスから速攻へ持ち込むバスケットに、どれだけ磨きがかかったか期待したい。また、県総体3位の富田、4位の大垣養老も個々の能力が高く、粘り強いチームであり、上位を脅かす存在である。さらに、県総体5位の岐阜総合の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの美濃加茂が最有力である。対抗には、県総体ベスト8の可児工業があげられる。

Bブロック・第4シードの大垣養老が粘り強いバスケットで上位進出をねらっている。対抗には、県総体5位の岐阜総合があげられる。順当にいけば、この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの富田が有力である。機動力を生かしたバスケットに、どれだけ磨きがかかったか期待したい。対抗には、県総体ベスト8の斐太があげられる。

Dブロック・第2シードの岐阜農林が粘り強いディフェンスと抜群のチームワークで、虎視眈々と優勝を狙っている。対抗には、県総体ベスト8の中津川工業があげられる。

☆女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。東海高校総体では準優勝、全国高校総体ではベスト8という成績を収め、実績・経験とも申し分がない。主将の鐘ヶ江、ガードの坂田、外国人留学生センターのローヤシンを軸に、レベルの高いバスケットを展開し、優勝候補の筆頭である。

対抗には、県総体2位の県岐阜商があげられる。最後まで粘り強く戦い、個々の能力も高く、非常に機動力のあるチームである。また、個々能力が高い高山西、総合力の高い岐阜総合があげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。さらに、県総体5位の土岐商業、近年着実に力をつけている岐阜農林の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するであろう。対抗には、県総体ベスト8の長良があげられる。

Bブロック・順当にいけば、第4シードの岐阜総合と県総体5位の土岐商業が、ベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの高山西が安定した戦いで上位に進出するであろう。対抗には、県総体ベスト8の岐阜農林があげられる。

Dブロック・第2シードの県岐阜商が最有力である。対抗には、県総体ベスト8の富田があげられる。順当にいけばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。